

日本の未来と人づくりーグローバル時代の次世代教育像ー

日本はかつて高度成長で伸びてきた時に若い人たちが...

小宮山 宏氏 三菱総研理事長



こみやま ひろし 1944年、栃木県生まれ。東大大学院工学系研究科博士課程修了。83年、東大工学部教授を経て2005年、09年3月、三菱総研に就任。同年4月、三菱総研理事長に就任。東大総長顧問も務める。専門は地球環境工学。

基調講演 「坂の上の雲」超え新境地

「知的な価値」と社会が要求する「公共的な価値」、企業も「経済的な価値」が単純に結びついてきた。今は違う。そこで社会と科学技術をつなぐ...

社会総ぐるみで挑む

次世代の教育、人づくりのあり方を模る「第3回京都21世紀教育創造フォーラム」...

教育の現状



服部 重彦氏 島津製作所会長

小川氏 今の教育をやりたい。小宮山氏は自らを「太陽光発電などを備え、省エネルギーに配慮した「エコハウス」に変えた。持論と実践が一致している。教育を巡る一番の問題は実践が伴わないことだ。学校での学びが生きた知恵になっていない。この乖離(かいり)をどう埋めるか。

服部氏 体で感じる学びこそ重要 川口氏 創造性はぐくむ仕組みを

は先進国型に変わろうという問題意識があったが、国民合意がなかった。学生たちは内向き志向になっており、留学希望者も減少している。もはや欧米にモデルがないと見ているためだ。これは先進国病の1つ。なぜ異文化理解が必要か、感覚的に分かってもらおう。こころをアツクさせたい。



川口 清史氏 立命館総長

教育を見直す必要があると痛感した。小川氏 国力、国際競争力の低下が懸念される中、国は教育をどう考えるのか。

教育は小中学校、大学の特色や進路の道いなどがあがり、一概に議論できない。こころが先進国の課題だ。多様性と同義語には、究極は個別指導しかないが、これはお金がかかる。「知の構造化」にイデオロギーで対応するような戦略はコミュニケーションスクールで地域の人たちに手伝わなければならない。

から我々も教育CSRには力を入れてきた。パナソニックさんと同様、環境についての出前授業をしていて、退職者で組織するシニアベンチャークラブの人たちが大勢手戻って、その中で「シニアの理科実験授業を教育現場に「仕組み」として導入する」とを提案したい。そうしないと、教育CSRは点から面には広がらない。門川氏 企業家の失敗や経験に学ぶ「モノづくりの殿堂」は企業に参画してもらって、シニアとして活躍した。特別支援学校高等部の生徒が京都企業で学ぶ仕組みを4年前につくった。実際は年6〜14週間、以後全国(40人規模)が企業に就職する状況が印象的だ。子どもは企業に行くと頭でなく体で働くことを知った。これはすべての子ども、大人に通じる話だ。企業と学校と家庭が連携したような可能性は広がる。

ロボット実演 児童ら歓声 企業や高校生がプレ企画



洛陽工業高校の生徒が製作したロボットを操作する子どもたち

フォーラムに先立ち、会場の立命館小学校では「ロボットが描かれた大勢の児童、生徒や保護者らでにぎわった。プレ企画は「ロボットのワークショプ」に人だかりができていた。ロボットの公開実演で人気を集めたのが世界大会に出場した立命館小学校では、会場の立命館小学校では、会場の立命館小学校では...

教育CSR



コーダイネーター・小川理子氏 パナソニック社会文化グループマネージャー

小川氏 教育CSR(企業)の教育面での社会貢献は年々活発になっている。日本経済(2010.5.30) 全国版朝刊 24面

# 国際競争に教育の力

## 大学の支援

小川氏 今も小宮山さんには(東大、京大などの)5大学と京都市教委で組織する「大学発教育支援コンソーシアム」の代表をしている。小宮山氏 目的は3つ。1つはIT(情報技術)の活用。教育の多様性をITで確保しようというのが鈴木副大臣の持論だ。これは重要なポイントで、上手にコンテンツをつくれれば習熟度の違ふ多様な子どもに自在に対応でき、教員の指導時間も節約できる。こ



意見を交わす(左から)門川大作、川口清史、服部重彦、鈴木寛、小宮山宏の各氏(京都市北区の立命館小学校)

のITの教材づくりがなんとか動き始めた。それと教員の恒常的な支援。3つ目が社会人の貴重な経験を教育現場に入れていくことだ。

でもITを使った電子ドリルづくりが始まっている。小川氏 立命館では大学と連携した小中高一貫教育体制がすでに確立され、交流が活発と聞く。川口氏 社会で力を発揮する人間をどう育てるか。それには小学校から大学を見据え

た教育が欠かせない。今の教育はこの接続ができていない。そこで新たな挑戦を、児童らの発達段階に応じた「4・4・4制」導入と併せて、大学までの一貫教育を強化した。

その1つが早い段階で国際性を身に付ける授業。立命館の備前が自立。市立堀川高校は(過去10年間の)有名国

あり、商業高校だった西京はグローバルな関係を築き止める教育が今必要と考えている。人育成と、教育目標を明確にして頑張った。

今年からバカロレア認定校になった。この国際基礎の教育システムで資格を取得すれば、ハイパーであれオックスフォードであれ外国の大学受験に際して特別な評価を受ける。こうした試みは私学だからこそできると思うが、成果は一つのパッケージとして全国に発信していった。企業や社会が変われば学校も変わる。学校の変化をきちんと社会に伝えることも我々の使命だ。

## 門川氏 大学入學をゴールとせず 鈴木氏「アジアと共生」必須命題

小宮山氏 社会で力を発揮する人間をどう育てるか。それには小学校から大学を見据え

た教育が欠かせない。今の教育はこの接続ができていない。そこで新たな挑戦を、児童らの発達段階に応じた「4・4・4制」導入と併せて、大学までの一貫教育を強化した。

その1つが早い段階で国際性を身に付ける授業。立命館の備前が自立。市立堀川高校は(過去10年間の)有名国

あり、商業高校だった西京はグローバルな関係を築き止める教育が今必要と考えている。人育成と、教育目標を明確にして頑張った。

今年からバカロレア認定校になった。この国際基礎の教育システムで資格を取得すれば、ハイパーであれオックスフォードであれ外国の大学受験に際して特別な評価を受ける。こうした試みは私学だからこそできると思うが、成果は一つのパッケージとして全国に発信していった。企業や社会が変われば学校も変わる。学校の変化をきちんと社会に伝えることも我々の使命だ。

今年からバカロレア認定校になった。この国際基礎の教育システムで資格を取得すれば、ハイパーであれオックスフォードであれ外国の大学受験に際して特別な評価を受ける。こうした試みは私学だからこそできると思うが、成果は一つのパッケージとして全国に発信していった。企業や社会が変われば学校も変わる。学校の変化をきちんと社会に伝えることも我々の使命だ。

## 小宮山氏 社会人の経験、現場に



鈴木寛氏 文部科学副大臣 門川大作氏 京都市長

が大阪府府内に設置したアジア太平洋大学(APU)には約7万坪、地域から2800人の留学生が学ぶ。そこから立命館小に留学生を招いて交流したり、大分で合宿討論やインタビューをしたりする授業がある。昨日から北京大付属小の児童が京都に来ていて、今日はロボット教室を兼ねて、今日はロボット教室を兼ね

小川氏 今何が課題か。川口氏 立命館宇治高校は



## 「学生記者」パネリストに質問

フォーラム後、聴講した大学生らが記者役になり、パネリストを相手に記者会見に臨んだ。10大学・4高校の学生ら110人の記者団から厳しい質問が相次いだ。

高校生 大学入試はペーパーテストで一発勝負が多い。現状のままいいのか。鈴木氏 偏重重視で暗記が多いのも確かだが、そうではない大学もある。社会に入ったら必ず知識の体系が問われる。いかにソボを外さず短時間で知識を習得するか、むしろ入試を逆手に挑戦してほしい。

大学生 大学の学びが就職に役立つのか。とつすれば解決できるか。服部氏 多くの企業は採用の流れが変わったことを

入試の現状これよりよいか。知識体系習得の場他にない日本の強みは。誰でも平等に学べる

記者団は大阪大、追手門学院大、京都産業大、京都造形芸術大、京大、聖母女子学院短大、摂南大、同志社大、立命館大、慶応大、京都市立西京高校、同増殖高校、聖母学院高校、立命館宇治高校の学生・生徒で構成した。

記者団は大阪大、追手門学院大、京都産業大、京都造形芸術大、京大、聖母女子学院短大、摂南大、同志社大、立命館大、慶応大、京都市立西京高校、同増殖高校、聖母学院高校、立命館宇治高校の学生・生徒で構成した。

## 第3回 京都21世紀教育創造フォーラム

日経(2010.5.30) 全国版朝刊 25面